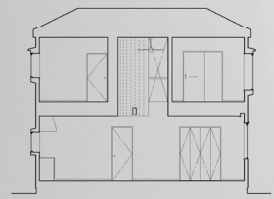
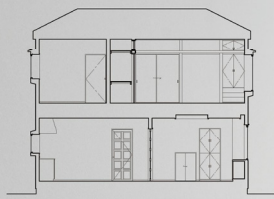


CASA BALLENA



SECTION



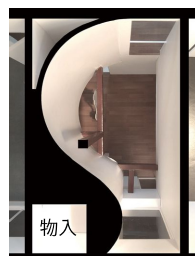
クジラ型の吹抜けに光が充滿する



LDK 全景

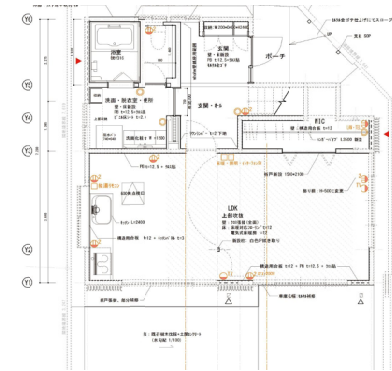


吹抜けを介して廊下とつながる

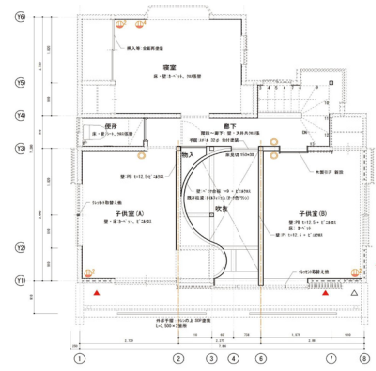


物入

2階子供部屋の物入れを存置したことで開口部に対して雁行する吹抜け形状の検討を余儀なくされた



1F PLAN



2F PLAN



太陽の運行に合わせて、家族の居場所となる1階に最大限の光を取り込めるよう、吹抜けの形状スタディを行っている

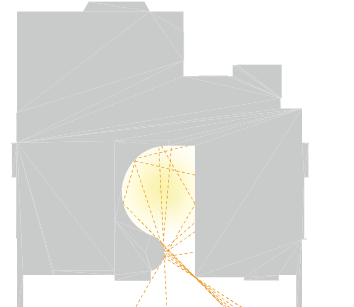
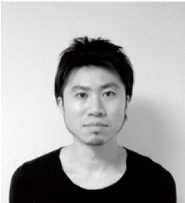


DIAGRAM 反射光が最大となる曲面形状



出窓部の通し柱は現しとした

GENDAI SEKKEI,co.ltd.
現代設計株式会社
事務所登録：東京都知事登録第 52494 号
東京：東京都三鷹市下連雀 4-17-30-301
広島：広島県廿日市市阿品 3-1-8-411
山口：山口県岩国市柱野 779-3
<https://www.gendaisekkei.co.jp/>



村重 盛紀(むらしげ せいぎ)
現代設計(株)代表取締役社長 / 一級建築士登録 第 337819 号
1978 年 山口県岩国市生まれ
2000 年 大阪芸術大学芸術学部建築学科 卒業
2000-2003 年 Alvaro Varela Arquitectos [Spain, Madrid]
2003-2005 年 PO2 arquitectos [Spain, Madrid]
2005 年 - 至現在

■CONCEPT
昭和後期に建設された木造住宅のローコスト改修。過剰に仕切られた間仕切りを撤去し、家族 4 人の現在の寝食スタイルに見合った住まい方を提案した。家全体の通風と採光を期待して 2 階の床を一部減築し、大きな吹抜けを設けたが、既存の物入れを残したことで、吹抜けはいびつな形状となった。そこで壁面を太陽の運行に合わせたスムーズな曲面とし、柔らかな光が差し込む吹抜けをつくっている。曇りの日でも照明が不要なほどの光の壁となり、夜間には柔らかな光の壁となるクジラ状の採光装置が、この家の性格を特徴付けている。
■計画概要：東京都府中市 / 地上 2 階・木造 / 延床面積：101.02 ㎡ / 撮影：Joaquín Mosquera [idearch]